RIPPLE SAILING CLUB
NO.76

月刊 1989・1.15

RIPPLE

（発行） 500円
リプル・セイリングクラブ
〒238−03
神奈川県横須賀市長井2−11−1
℡ 0468−57−1711

年間スケジュール

先日神奈川県セイリングスポット連絡会（以下このリプルニュースでは、K．S．Rと書くことがあります。・・・・なんてったって長い名前なんで。）の総会があり、今年度の年間スケジュールが決定いたしました。

昨年のヨット駅伝、湘南カップは勿論のこと、海だけでなく陸においても和気愛愛の企画が盛りだくさんです。

3月3−5日（金−日） 合同スキー旅行 （菅平）

バスとか宿泊の関係がありますので今月末位までには申し込んでね!!
これが届く頃には締め切りを決定しております。

海の仲間の最初のビックイベントは、合同スキー旅行です。
今回の企画に参加するスポットは、ファーイースト、オーシャンビュー、とリプルです。
というよりオーシャンビューの予定していたスキー旅行に相乗りという感じです。
詳しいことは、月刊リプル2月号でお知らせ致します。

3月−12月（第二日曜） 恒例リプルカップ （長浜）
ビックレースの練習として参加して下さい。

5月14日（日） 試乗会 （長浜）

7月2日（日）
9月10日（日） 後記のヨッティングルームの卒業生とヤマハのヨッティングルームを卒業した人達を対象にバーベキュー等をしながらセイリングの楽しさを知って頂こうという企画です。
（この時お手伝いできる人がいましたらお願致します。）

6月11日（日） ヨット駅伝 （逗子）（予備日19日）
昨年は14チーム中、4位と9位でしたがそろそろ優勝してもいい頃ではと思っております。今年のホストクラブは、S・S100になります。今年も2、3チームを編成したいと思います。
このレースはシーホッパーに2人で乗り込むため、ヨットを知らない人でも参加できますのでふるって参加しましょう。

8月5・6日（土、日） ディンギージャンボリー （三戸浜）
昨年までは、山中湖で行われておりましたがY・S・A，K・S・R．それにカートップの人達が一同に会する真夏のビックイウ”ェントです。
前の日は、くったくたになるなるほどの、サマーナイトパーティー、そして翌日は二日酔いゲロ吐きレース。

10月8日（日） 湘南カップ （長浜）（予備日15日）
昨年は、ここリプルでは、長谷川さんの個人優勝と団体優勝までかち取ってしまったのであるが、今年も地の利を生かして頑張りましょう。
このレースは、今年はオープン参加となりますのでおそらく湘南では一番でかいレースになりそうです。

12月（？）（？） 合同クリスマスパーティー
場所、日程等は未定ですがK．S．Rの人達が一年を振り返ってわいわい騒ごうと思います。

ヨッティングルーム出張サービス

この度、神奈川県セーリングスポット連絡会では、もっともっとセーリングの仲間を増やそうということで、出張ヨッティングルームのサービスを、行って行きたいと思います。

これは、各クラブ員によりその会社で、ヨットに興味のある人を集めて頂いて、各クラブ員の会社で、ビジネス終了後、食堂とか会議室でヨットの選ばれたエキスパートナーの講師による、初心者を対象にしたヨット教室を行おうという企画です。（こうなると、こちらからのお願いと言った方がいいですね。）

会費は、テキスト代を含んで一人500円です。

そしてさらに、ヨットを体験してみたいという人には、ヨットスクールを開催いたします。（費用は10,000円です）

勿論、私も要望が有れば同席し、ヨッティングルームの終了後の食事会（オプション）なんかも出席いたします。

申し込み方法は、一括してヤマハ新橋店（☎03−572−2020）になります。（その前に、私と必ず調整をして下さい。）

初日の出クルージング

12月31日、初日の出クルージングに参加する面々は、集合時間の12時間も早く、夕刻よりかつてリプルニュースで紹介した長沢の八千代寿司に集まりだした。

ラークの長倉社長、吉田さん、ウインドの大貫さん、渡辺さん、やまちゃん、マーチンの小林さん、自作艇の小原さん何れも昨年リプルを賑わせてくれた人達である。

ミニ忘年会と言おうか、とに角飲んで盛り上がろうと言うことなのである。 巷では、ここ数年来お目にかかったことがない、レコード大賞、紅白歌合戦、とやらがやっている時間なのである。

元旦に使用するデリバランス号には暖房がないため、アルコールで暖を取って寝込んでしまおうとするためか、皆ピッチが早い。

皆飲んで飲みまくって、1988年は暮れて行った。

明けて、1989年元旦、例年だと満天の星空の中三崎マリーナに向かうのであるが、星一つ出ていない真っ暗闇の中”今年はだめかなー”と思いつつ向かったのである。

ハーバーに着くと、長谷川夫婦、杉田夫婦、宮本カップル、目崎さん、片桐さんも既に到着していて、艇は鈴なりの状態である。

6時少し前、とに角海に出ようと言うことで暗闇の海へと出航した。同じ気持ちを乗せたマスト灯が既に彼方にてんてんとしているのが確認でき、なんとも幻想的な光景である。

そんな中、大綱を交わす頃であろうか、それまで静だった海に突如として強風が吹き出したのである。大西の吹き出しである。みるみる海面は白波どころかうねりに変わって行った。

初日の出が昇る東方には厚い雲がたれこめ、とても初日の出どころではない状況なのである。しかし我々は、最後の望みを掛けうねりの中、その時刻をかなり過ぎるまで頑張ったのであるが、ついに1989年の初日の出は拝めなかったのである。

ハーバーに着いた参加者は、残念この上無い気持ちで海南神社で初詣を済ませクラブハウスへと向かったのである。空には薄雲の中より白い太陽が弱々しく1989年の夜明けを告げていた。

それから一週間後、昭和天皇崩御の知らせを聞き、なにか予言していたかのように、天も自粛していたのではなかろうかと思ってならない1989年の夜明けであった。